

# 公益社団法人日本技術士会 CPD行事实施報告書

開始日時	平成29年6月13日(火)	13時00分
終了日時	平成29年6月14日(水)	12時20分
名称	第49回CPD見学会	
主催者	公益社団法人日本技術士会 千葉県支部 技術者教育支援チーム	
開催場所	JR東日本信濃川発電所関連施設,旧山古志村「おらたる」他	
行事内容	<p>主テーマ：JR東日本信濃川発電所関連施設と旧山古志村中越地震現場の見学」  信濃川発電所は朝夕のラッシュ時に首都圏の電車に電力を供給している。  13日 宮中取水ダム：取水のため信濃川の水位を一定にするダム,沈砂池も見学  宮中ダム魚道観察室：宮中取水ダム横にあり魚の遡上が見られる  浅河原調整池：朝夕の発電にあわせ貯水  千手発電所：首都圏に電力を送電。発電機は戦前の製造  小千谷信濃川水力発電館「おじゃーる」地域との共生を目指してJR東が設置  信濃川発電所関連施設と歴史を紹介</p> <p>14日 旧山古志村やまこし復興交流館「おらたる」地震の概要を見学  木籠メモリアルパーク：河道閉塞の現場,数棟の家を埋まったまま保存  中山隧道：昭和24年に開通した日本最長の手掘りトンネル,現在は廃道</p>	
参加人数	8名	

第49回CPDは臨時CPDとして技術者教育支援チームが計画する見学会に県支部会員に声を掛けて1泊2日で実施した。

13日の実施に当たってはJR東日本殿のご好意により、通常見ることのできない設備・施設を案内していただいた。技術的な運用・保守に加え、政治的な地域との共生をも考えて、首都圏の電車の安定運行に努力する技術者の姿に感銘を受けた。

14日は「おらたる」の係員の案内により「おらたる」内および旧山古志村内を見学した。係員は中越地震時小学3年ということで、本人の経験に加え家族の行動、地域住民の生活などの話も経験者ならではの話であった。また、「おらたる」内にプロジェクションマッピングによる地震の説明設備があり、旧山古志村の地形に重ね合わせるにより分かりやすく、興味深いものであった。

今後も、機会を作ってこのような見学会を設けたい。



J R東日本千手発電所発電機



旧山古志村木籠メモリアルパーク